

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	音楽探究	学 年	第3学年	学 科 類 科 型	普通科文系
単位数	2単位	教科書	改訂 音楽運輸（教育芸術社）				
副教材	楽典						

学習目標	音楽系大学への進学希望者を対象とした講座です。総合型選抜入試、学校推薦入試、一般試験に必要な思考力・判断力・表現力を身に付け、入試に対応できる実技力を高めます。将来に渡り活用できる音楽の知識を磨きます。
------	---

キャリア教育の視点	音楽系大学において必要となる知識や実技の基礎、入試に対応した表現力などを身につけます。また総合型選抜に対応する課題を行います。 専門実技、音楽史、ソルフェージュ、楽典のそれぞれの分野を学び、卒業後に活用できるよう基礎を固めていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	音楽系大学の入学試験について	大学の入試問題の傾向と対策について理解します。	実技テスト 発表
	5月	過去問題の練習	過去問題を解き基礎的な知識を復習します。	
	6月	ソルフェージュ	ソルフェージュ能力を身につけるため歌唱・聴音に取り組みます。	
	7月	作品創作・発表	大学に提出する作品発表をします。	
2 学 期	8月	鑑賞(西洋音楽)	西洋音楽・日本音楽の鑑賞を通して音楽史についての基礎的な知識を身につけ、さまざまな楽曲に触れることで感性を磨きます。	ワークシート
	9月	鑑賞(西洋音楽・日本音楽)		
	10月	入学試験対策	入学試験の直前の対策を行います。	実技テスト
	11月	歌唱(イタリア歌曲・ドイツ歌曲)	幅広いジャンルの歌唱を通して、表現力を磨きます。国によって異なる歌曲の魅力、特徴を学びます。	
	12月	歌唱(日本歌曲) 楽典(和音とコード)	和音とコードについて理解します。	
3 学 期	1月	音楽史	2学期に鑑賞したことをもとに音楽史について振り返り、特定の時代についてプレゼンテーションを行います。	発表
	2月			
	3月			

学習の方法	自主的な活動、勉強の態度が重要となります。各自の専門とする実技・創作分野については日々課題意識を持ち、継続して取り組むことが求められます。音楽史、ソルフェージュ、楽典については、基礎的な内容を中心に学習するので、分からないところをそのままにせず疑問を解決していくようにしてください。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 A表現(完成作品、創造的な技能) B鑑賞(ワークシート、自己評価) 思考・判断・表現 A表現(創意工夫) B鑑賞(鑑賞活動、発表内容) 主体的に取り組む態度 A表現(活動状況、提出物、発表、発表の工夫) B鑑賞(鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想)
-------	--

備考	
----	--